

# リモリマンスリー

## 梶原町での森林事業化に向けたトライアル実施での思い

梶原町の皆様こんにちは。この度、矢崎総業での森林事業化に向けたトライアル（8月23日～9月16日）に参加させて頂きました四国部品の河添と申します。

さて、このトライアル参加にあたり、先に社内にて選抜の通知がありました。今回の作業内容は地拵え・植え付け・下刈りの作業であると聞き、帰宅後早速作業方法について調べてみました。実作業と調べた事が必ずしも一致するとは思っていませんでしたが予備知識として知る事が出来ればと確認してみました。社内では約26年事務職に従事し、最近1年程は製造工程で作業をしてまいりましたが、いずれも屋内での業務ですので、今回の屋外作業は人生初の事となります。屋外での作業に多少の不安もありましたが、それよりも新しい仕事に従事する事への期待が大きかったです。

作業日より松山榮喜様に地拵え、植え付けのご指導を頂きました。実作業での率直な感想は、とにかく暑い！汗が引けません。体中の水分が全て抜けていく様な感じでしたが体力的には大丈夫だと思えました。屋内でのワイヤーハーネス製造も時間に追われ、腕や手を使う仕事なのでそれなりに暑いですが、比べものにはなりませんね。屋内でも屋外でも決して楽な仕事はありませんが、自然の中で働ける事に意味があると思います。丁寧に指導頂いたおかげで、地拵え・植え付けの方法も理解でき、実習予定地での作業を完了する事が出来ました。ご指導ありがとうございました。現在進行中の現場では、作業時間の短縮に向け取り組んでおります。

矢崎グループで色々な方が来期の事業化に向け頑張られており、事業化が決まりましたら、また、梶原町にて森林業に従事してまいりたいと思いますので、その時はまた宜しくお願ひ致します。 四国部品（株） 河添 昭人

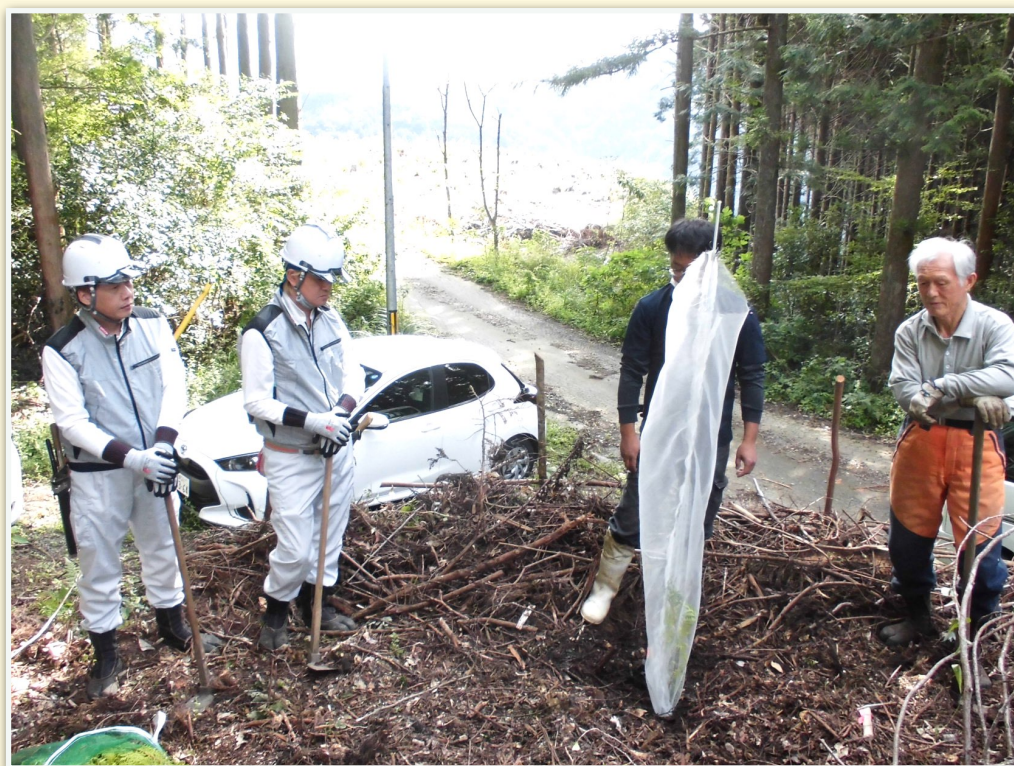
四国部品（株）高知工場でワイヤーハーネスの仕事に従事していましたが、新規事業として来年から梶原で造林事業を行う計画があるとの事で、新しい事業に向けて8月2日から約1カ月間梶原町でトライをする事になりました。

元々山は好きで、自然の中で仕事が出来たらいいなあと思っていましたので、今回のトライメンバーに選ばれて本当に嬉しく思いました。造林の仕事はほぼ経験はありませんが、山での仕事の手伝いをした事があるので、ある程度のしんどさは分かってはいましたが、実際に山に入って地拵え、植樹をやってみると、想像以上にしんどい作業でした。

いつも工場内でエアコンもあり、道（床）も平坦な場所で、主にパソコンでの業務ばかりしていたので、しんどさは天と地ほどの差がありました。でも、それだけしんどい仕事でも、やっぱり山の中で汗を流し、木を植え、自然を守る仕事は最高だと感じました。

今回のトライで少しではありますが、造林事業に関わる事ができ、森を育てる（守る）大変さ、楽しさを知る事が出来ました。また、このトライを行うにあたって、ご指導、ご協力を頂いた梶原町の皆様には、大変感謝しております。

今後も森林事業に関わって行きたいと強く思っていますので、来年から梶原町の森で新事業をスタート出来る事を願っています。 四国部品（株） 岡 良雄



松山榮喜さん（右）の指導を受ける河添さんと岡さん

### （有）まんさく視察レポート

八月八日、吾川郡いの町の「有限会社まんさく」、林さんの現場に視察に伺いました。従業員八名のローテーションで主に個人の山、大豊町の山をメインに造林事業を営んでいます。

一、事業内容（山の現場作業は月十七日稼働 八時～十六時）

・地拵え ・植え付け ・下刈り ・切り捨て間伐 ・防獣ネット張り

二、今後の課題

・傾斜によって補助金が変わったり再造林の補助金額が下がっている

・補助金は元請が儲かっても下までそのお金が回ってこないのが現状

・早生樹を植え、植物活性剤の登場で下刈りが不要の時代に突入

・軸がしっかりし、寒さや暑さ、乾燥に強い苗を育てる必要がある

三、まとめ

林さんのお手柄により素敵な方々が集まり、雰囲気の良い現場で、今後、協力隊でも組織をつくり、造林事業を営むにあたって、非常に参考になるお話を聞くことができました。なかでも私が考えさせられたのが、林さんが「早生樹を植え、植物活性剤の登場で下刈りが不要になる時代がきて死活問題」とおっしゃられていたことです。個人的には林業で一番キツイといわれる下刈りが、より効率的で作業負担の軽減になるなら造林事業の担い手ももっと増え、メリットがあるように感じます。下刈り回数を減らし、造林コストを減らすことで、そこに使っていた時間を別事業（農業、木工、ツリークライミング）などに収入の柱をつくらせたいと、今後、面白いなと思いました。

有限会社まんさくの方々の話を聞き、林業といえば伐倒が見えますが、造林の仕事には「森林の始まりを造る」という伐倒には負けない魅力があることを改めて知りました。私もこの視察で感じた想いや考え方を忘れず森林に向き合っていきたいと思えます。

ゆすはら地域おこし協力隊 下村 智也

八月八日、いの町にある造林専門の会社「有限会社まんさく」様へと視察に向う。業務内容は、「植え付け」「下刈り」「地拵え」といったように造林業が主となる。私自身、草刈りの経験があるが、かなり過酷な作業でそれを専業でやるのはかなり覚悟がいるように思う。

従業員八名の規模でやられていて、意外にも若手の方が多く、そして何よりも社長がとても気の良さそうな方であった。皆さんもとても仕事に対して前向きで、楽しく行なっているように語っていた。とある若手の方は林業大学校に在学中にインターンシップでまんさくへ来て、社長の人柄に惹かれ、卒業後、そのまま就職したとのこと。

社長は無料の社員寮など福利厚生について語っていたが、その中で面白いと思ったのが熱中症対策補助というもの。塩飴や冷感グッズなど月五千円までは補助が出るらしい。そういった些細な気遣いを通して、初対面ながらも社長の人柄の良さが垣間見えたかと思う。誰とどんな環境で仕事をするのが重要なのだと改めて考えさせられる視察であった。

ゆすはら地域おこし協力隊 長谷川 夏輝



上：まんさくの林社長（中央） 下：いの町の視察現場



